

2019年4月25日

鹿島工場製品の船出荷設備新設について

増加傾向にある製品の船出荷を将来にわたって更に安定化させることを目的とし、鹿島工場に隣接する鹿島タンクターミナル株式会社様所有のバースに、当社製品貯槽タンクと直結した当社専用の船出荷設備を新設致します。

これにより、鹿島工場製品の船出荷能力が格段に向上し、鹿島工場の製品出荷体制が今まで以上に安定致します。

また、船出荷設備新設に当たり、製品品質におきましても今までと同様、安全で安心な製品をお届けすることをお約束致します。

なお、新設備からの出荷開始時期は、2020年2月中を予定しております。

日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 嶋津 泰基

[備考－1]

グループ会社のアルコール海運倉庫株式会社におきましては、新中期ビジョンの計画期間に、総トン数415トンの新船建造契約を締結すべく準備を進めております。

[備考－2]

当社におきましては、鹿島工場の能増に係る基本設計を2019年末までに完了するなど、予備系列（300KL／日）建設へ向け、準備を進めております。